

各位

株式会社ゲオホールディングス

ゲオ「東京レインボープライド 2019」に参加 2018年よりダイバーシティ活動の一環として参加、今年で2回目

株式会社ゲオホールディングス（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：遠藤結蔵）は2019年4月28日・29日に東京都・渋谷区で開催された「東京レインボープライド 2019」に従業員15名が参加しました。

「東京レインボープライド」とは、1994年より東京で開催されてきたプライドパレード（※1）です。初回開催から25年目となった「東京レインボープライド 2019」は「らしく、たのしく、ほこらしく」をモットーに、性的指向および性自認のいかんにかかわらず全ての人が、より自分らしく誇りをもって、前向きに楽しく生きていくことができる社会の実現をめざし、開催されました。

ゲオでは、2014年からダイバーシティ推進に関する取り組みを行っており、これまでLGBT（※2）についての基礎知識に関する社内教育（eラーニング）の実施や、同性パートナーシップ制度の導入などを行ってきました。

ダイバーシティ推進の取り組みのひとつとして、「東京レインボープライド」のイベント主旨に賛同し、2018年より同イベントに参加を行っており、今年で2回目の参加となりました。

当日は、企業ブースにおいて「人は色々なカラーや個性を持っており、どんな人でも価値がある」をテーマとし、リユース品のファッションアイテムを活用してレインボーを表現したフォトスペースを出展したほか、社員11名とパートアルバイト4名の計15名がパレードに参加しました。パレードのルートにセカンドストリート渋谷神南店も含まれていることから、店頭でゲオオリジナルのLGBT-ally（アライ）（※3）ロゴTシャツを着たマネキンを展示することで、店頭でもパレードを盛り上げました。

ゲオグループは今後も、全従業員が自分らしく働くことで働きがいを持ち、1人1人が楽しみながら仕事をすることができる環境づくりを目標とし、ダイバーシティの推進を行っていきます。



＜セカンドストリート渋谷神南店 パレード当日 ゲオオリジナルLGBT-ally Tシャツ着用マネキンの様子＞

※1：レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー文化を讃えるイベントをさす言葉です。各時代における法的権利を求めるLGBTの社会運動の場ともなってきました。イベントは世界中の様々な都市で、ストーンウォールの反乱を記念した毎年6月を中心に行われています

※2：LGBTとは、Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性別越境者）の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです（東京レインボープライド2019「LGBTとは」より <https://tokyorainbowpride.com/>）

※3：アライ（Ally）、正しくはストレートアライ（Straight Ally）と言います。自分は、LGBTではないけれどLGBTの人たちの活動を支持し、支援している人たちのことを言います。米国で、LGBTの方々を支援し、同性愛に対する嫌悪や偏見を持つ価値観などの解消を促すための活動（Straight Alliance）が盛り上がり、これらを支持する人がアライ（Ally）と呼ばれるようになりました（一般社団法人日本LGBT協会 アライ（Ally）とはより <http://www.lgbt-kyokai.com/ally.html>）

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社ゲオホールディングス 広報部広報課 担当：芝田
TEL：03-5911-5784 E-mail：geo-pr@geonet.co.jp

■ゲオがこれまでに実施・制定してきたLGBTに関する取り組み

- ・「LGBT 基礎知識」の社内教育（eラーニング）の実施
- ・企業倫理規定の変更…性的志向・性自認に関する差別がハラスメントに該当する旨の記載
- ・同性パートナーシップ制度導入
- ・社員融資支援規程の改訂…使途に「性別適合手術」を追加
- ・組織表上の性別表記の削除
- ・プライドパレードへの参加（東京・大阪）
- ・企業認定取得…PRIDE 指標ゴールドを取得



以上

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社ゲオホールディングス 広報部広報課 担当：芝田
TEL：03-5911-5784 E-mail：geo-pr@geonet.co.jp